

## メッセージアウトライン ローマ15：1～6「心を一つにし」

[1-2]「私たち力のある者は、力のない人たちの弱さをになうべきです。自分を喜ばせるべきではありません。私たちはひとりひとり、隣人を喜ばせ、その徳を高め、その人の益となるようにすべきです」

「力のある者」とは強い信仰の者というだけではなく、経済、社会、倫理、道徳、健康等、どのような立場にあるとしても、そこで力のある者のことを指していると考えられる。「力のない人」とは信仰的、霊的に弱いというだけではなく、倫理的、社会的にも弱者であり、力のない人を指していると考えられる。「になう」とは背負って運ぶの意。力のある信仰者は、自分を喜ばせるのではなく、キリストにある愛、思いやり、具体的な助けによって、力のない人たちの弱さを背負い、徳を高め、益とし、ともに生きることが大切。教会のかしらキリストにその模範を見ることができる。

[3]「キリストでさえ、ご自身を喜ばせることはなさらなかったのです。むしろ、『あなたをそしる人々のそしりは、わたしの上にもふりかかった』と書いてあるとおりです」パウロが引用しているのは詩篇69：9のことば。「あなた」とは神のこと。神をそしる者たちは、世を救うために神から遣わされたキリストをもそしったのである。→マタイ27：39~44 しかし、イエスは私たちの救いのため、どこまでも神のみこころに従われた。→ピリピ2：3~8 このようなキリストのお姿を知れば知るほど、私たちは他の人との関係において、正しく生きる力を持つことができる。

[4]「昔書かれたものは、すべて私たちを教えるために書かれたのです。それは、聖書の与える忍耐と励ましによって、希望を持たせるためなのです」

「昔書かれたもの」とは旧約聖書のことであるが、今日においては新約も含めた聖書66巻全体のことと言える。

[5]「どうか、忍耐と励ましの神が、あなたがたを、キリスト・イエスにふさわしく、互いに同じ思いを持つようにしてくださいますように」

これがパウロの願いと祈りである。神はクリスチャンたちに忍耐と励ましを与えてくださる。「同じ思いを持つように」とは、教会がキリストを信じる者にふさわしく、キリストにある愛によって一致するようにとの意味。

[6]「それは、あなたがたが、心を一つにし、声を合わせて、私たちの主イエス・キリストの父なる神をほめたたえるためです」

クリスチャンたちの一致のあるところ、主イエス・キリストの父なる神をほめたたえるという麗しい状態が実現される。一致のあるところ、神からの祝福があり、一致こそ、教会の発展の原動力となる。